

基準（具体的な内容）	
防犯指導リーダー（地域で指導できる）	
①自治体の「防犯条例」,「安心・安全まちづくり条例」などの有無や内容について知っている。 ②国内の防犯活動の具体例を知っている。	p.62～63
①地域の特性に応じた防犯対策について説明できる。 ②自分の住んでいる地域でどのような防犯活動が行われているか知っている。	p.30～31
①住宅街, 商店街, 学校などのおおよその位置を把握している。 ②地域の人口や世帯数, 小学校児童数等を把握している。 ③地域において犯罪が起こりやすい場所を具体的に把握している。 ④地域の危険な場所と安全な場所を具体的に把握している。 ⑤子どもの行動範囲や遊び場を把握している。(放課後預かり施設など)	p.30～31 p.30～31 p.24～25 p.24～25
①住宅街や商店街などの特性と防犯上の課題について説明できる。	
①地域の課題や問題の発見のために協力することができる。 ②地域の課題や問題に対する取り組みに参加することができる。	p.30～31 p.30～31
①防犯活動がしやすい環境について事例を説明できる。 ②子どもが相談しやすい地域づくりについて説明できる。	
①子どもが巻き込まれている犯罪の種類を知っている。 ②過去に起きた犯罪などを調べることができる。 ③子どもがターゲットとなりやすい犯罪の手口について知っている。	p.16～17 p.16～17
①子どもが被害者となる犯罪が発生しやすい時間帯を知っている。 ②防犯を目的とした様々なマップの用途や効用を説明できる。(地域安全マップと犯罪発生マップの違いについてなど) ③「いかのおすし」などの標語について説明できる。	p.12～13 p.26～29 p.12～13
①防犯機器や防犯グッズの種類と機能の概要を知っている。 ②防犯協会推奨商品のポイントや警察庁推奨の音の大きさなどについて理解している。 ③防犯ブザーの長所・短所, 有効な場所などについて説明できる。 ④防犯ブザーを利用するときの注意点や管理方法等について指導できる。 ⑤防犯カメラの有効性について説明できる。	p.58～61 p.18～21 p.18～21 p.18～21 p.58～61
①子どもの留守番の危険性について説明し, 注意点を指導できる。 ②留守番中の適切な来客対応・電話対応について, 注意点を指導できる。 ③不審電話などへの対処法を指導できる。 ④子どもが家に入る際の注意点を指導できる。	p.22～23 p.22～23 p.22～23 p.12～13, p.22～23
①子どもの目線に立って, 建物とその周辺の危険な場所が判断できる。 ②マンション, 団地などの集合住宅での安全確保について説明できる。 ③エレベーターの安全な乗り方について説明できる。	p.26～29 p.24～25

※「基準」の欄のページは、本文のページ数を示しています。